

高校生は、学習時間を増やそう

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

(1)おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

(2)今日1月14日と明日15日は、大学入学を希望する大勢の方が大学入試センター試験を受けます。そこで今日は、大学について少し考えたいと思います。

2. 高校生は、学習時間を増やそう

(1)皆さん御承知のように、現代は「大学の大量化の時代」と呼ばれています。大学・短期大学・専門学校を合わせて高等教育機関と言いますが、例えば、4年制の大学には、高校を卒業したあとに50%以上の方が入学し、短期大学や専門学校を含めると約8割くらいの方が高等教育機関に入学をなさいます。ですから、大学・短期大学・専門学校を含めて大学と呼ばせていただきますが、本当に「大学の大量化の時代」となっています。このような傾向はアメリカやヨーロッパでもたくさんあります。

(2)ただ、問題があります。何が問題かと言いますと、非常に言いにくい話ですが、大学の定員がなかなか満たない学校もたくさんありますし、大学の総受験者と大学の定員がほとんど同じか、もしかしたら定員の方が少し多いくらいになっている大学もあります。

(3)大学は学生数確保のために入学試験をどんどん易くしています。その結果、学力不足のまま大学に入学してしまう方が多いのです。大学の教育や研究に耐えられるだけの学力を身に付けずに大学に入学してしまう学生たちがたくさんいます。

(4)この原因は、大学が大学入試を易くしたからだとされています。特に、従来型の難しい学力試験ではない推薦入試やAO入試という形で入学する方にそれが顕著であるように言われています。ただ、低い点数でも入学試験に受かってしまう大学はたくさんありますし、昔ほど高校時代に学力がなくてもたくさんの方が受かってしまいます。自業自得とはいえ、大学の先生方は授業が成り立たずに非常に困っています。

(5)では、このように学力不足のまま大学に入学した学生たちに大学は何をするかと言いますと、責任を果たすためにリメディアル教育を行っているところが多いです。このリメディアル教育は日本語で言うと補修教育です。補は補う、修は修める、補って修めるという教育、英語で言うリメディアル教育を行っています。中味は簡単で、中学校や高等学校で勉強したことをもう一度勉強し直していただくのです。多くの高校教師のOBや予備校の先生たちがこれに参加して、大学に行って教えているというのが実状です。ですから、大学生であるのに前提となる高等学校の勉強をしなかった学生に対しては、中学校や高等学校でやるべき勉強をもう一度してもらうという

当たり前と言えば当たり前のことをしているのがリメディアル教育です。

- (6) また、勉強の仕方、例えばレポートの書き方や授業の受け方、図書館の使い方、生活の仕方を「初年次教育」として施している大学もたくさんあります。大学の1・2年生ぐらいで身に付けるべきことを普通は高等学校で全部身に付けてから大学に行くのですが、そういう方が少なくなったということで、大学も初年次教育をしたり、補修教育、補い修める教育、英語で言うリメディアル教育を施して大学での学力不足を補ったりして勉強の仕方を身に付けていただく努力をしています。
- (7) 現在、日本の大学では90分の授業が15回で2単位が基本となります。最近では、大学の質保証が強調され、単位の認定、評価は極めて厳格です。前期で2単位、後期でも同じことを積み重ねて一定の単位が取れなければ進級できない、あるいは、留年してしまうこととなります。ですから、留年をする方もたくさんいます。また、途中で退学する方もたくさんいます。ただし、あまり勉強ができなくても卒業できてしまう大学もいまだに多いようです。しかし、ヨーロッパの大学ではどんどん留年させます。一定のレベルに達しないとどんどん留年させますので、卒業できない方は山ほどいます。アメリカでは、学力不足の方や高等学校の時にあまり勉強しないで成績が芳しくなかった方がもう一度基礎から勉強しようということで、「コミュニティ・カレッジ」というものが非常に盛んです。年配の方もたくさん入っていらっしゃいます。そこで学力を向上させてから、大学の3年生に送り込むという仕組みがあります。しかし、日本にはそのような仕組みがありません。ですから、大学では先ほどお話しした初年次教育、勉強の仕方を教える初年次教育や、中学校や高等学校でやった勉強をもう一度教えるリメディアル教育が盛んです。
- (8) 今、景気がとても悪いので、大学できちんと勉強しないとなかなか就職できません。ですから、一番よい方法は、高等学校の時にしっかりと勉強することだと思います。自分は大学に行くんだと思った人は、高等学校の時にしっかりと勉強していただいたほうがよいと思います。学力不足のまま大学や短期大学・専門学校に行かないことが大事です。また、高等学校の時にあまり勉強しないと就職することが難しいです。高校が終わった方の就職はもっと厳しいですので、高等学校の時にがんばって勉強したほうがよいと思います。
- (9) ところで、中国やインド、アジアの新興諸国の人たち、また台湾や韓国、インドネシア、ベトナムの人たちは、本当によく勉強します。高校生は寝る時間以外は勉強します。多くの中学生、大学生が寝る時間以外は勉強しています。中学生よりは高校生、高校生よりは大学生と睡眠時間がだんだん少なくなっていだけで、寝る時間以外は勉強するというのは同じです。これは普通のことです。ですから、日本の高校生ももう少し真面目になって、大学に行くのであれば、また、就職をしたいのであれば高等学校に行っても勉強し、学力が身に付いたら大学などに行くようにしたほうがよいと思います。高等学校での勉強量があまりにも少ないのが日本の現状です。高等学校の先生にもがんばっていただきたいと思います。たとえ実業高校の生徒でも、自分の生徒の半分以上は大学に行くのですから、しっかりと教えないと、そのあとにあまり幸せな人生は待っていないのです。ですから、是非、高等学校の先生方も奮起をし、使命感を持って教えていただければありがたいです。

3. おわりに

今回は、ちょうど今大学入試センター試験が行われていますので、大学について考えてみました。とにかく勉強不足なのが日本の高校生です。

2012年8月18日加筆訂正 林 明夫